

性差、年齢差からみた、感覚刺激への 不快度、およびその刺激内容

萩原英敏

(2006年9月26日受理)

要 約

外界の種々の刺激に対して、不快度をどの程度持っているのか。2004年度は、青年期の女子を中心に行なったが、今回はそれに続いて以下の3つの視点から研究を行なった。その1は、年長者でも同じ傾向が見られるか、その2は、性差が見られるか、その3は、不快刺激の内容面で、性差、年齢差が見られるか、という事である。その目的で首都圏の男性44人、女性98人に不快刺激の程度をみる、アンケート調査を行ない、次のような事が明らかになった。

1. 年齢差での不快の程度は、女性の全感覚を除いて、差が認められなかった。
不快の程度は年齢によって変わらず、それは生物学的なものと考えられた。
2. 年齢を同期にした場合、不快の程度では、女性の方が男性より強いという差が出た。これも生物学的なものと考えられた。
3. 不快刺激の内容面では、年齢差が認められた。特に男性に差が大きかった。
これは近年の日本社会が、生物学的な男子の持っている性に、何らかの影響を与えていた為ではないかと考えられた。

キーワード 性差、年齢差、感覚刺激、不快度、程度

I. はじめに

人は色々な外界の刺激を受け、それが嫌という感情が生じれば、不快刺激として認知される。

この不快刺激への不快度や、その対象となる内容が、著者（男性、50歳代後半）と、¹青年（女性、10歳代後半）が、かなり違う事が日常生活の中で感じられた。

その為、著者は、青年期の不快刺激がどの様で、その程度はいかばかりか、また不快を形成する要因はどんなものがあるかをみる研究を行なった。（2004年5月）¹⁾対象は首都圏の2つの大学生、女子305名、男子63名で、2, 3)の文献を参考にして作成した、「不快刺激の程度」「両親の神経質の程度」「幼児期からの遊び方」「対人関係の不安」などを問う、75項目からなるアンケートである。

その結果、差が明確だった不快刺激の程度をみる為の50項目を中心にみていくと、女性の方が男性より、不快を強く感じるが、その刺激内容には、差は見出せなかった事や、対象者として多かった女性では、不快度を100点満点で示すと、平均53点、SD 12点、左右対称の正規分布曲線を示し、この質問事項で、不快の程度を知る事が可能である事などが明らかになった。

そこで本研究では、その1に青年女子で確認されたこの質問事項での青年男女の、不快の程度が、年長者を対象としても、同じ傾向が認められるものか、またその2に年齢を同期にした場合、性差を見たらどんな傾向が認められるか、その3に、刺激の内容面で、性差・年齢差で、どのような違いがあるかを調査した。

II. 対象および方法

1. 対象者

首都圏の女子学生の親族、友人、近隣の人達（表1）142名である。

表1		年齢	
		0～19歳	40～59歳
性	女性	56名	42名
	男性	24名	20名

2. 調査

不快刺激の程度をみる、アンケート調査で、3段階評定法（資料1）で行った。

3. 調査時期

2005年5月～6月

4. 分析方法

数値は、各質問で「あまり気にならない」を0点、「やや嫌である」を1点、「非常に嫌である」を2点と点数化し、五感別では10項目、全感覚では50項目で単純に加算したものを見てている。SPSSによる単純集計及び平均値の分析を行った。

III. 結果及び考察

1. 年齢区分別不快度

(1) 女性

1) 味覚

分布では、0～19歳の青年を含め年少者は、2点を示すものが最も多く、40～59歳の年長者では、1点を示すものが最も多かった。次に年齢区分別に有意差がある

か調べたのが、表2である。平均値では、年少者が6.7、年長者が3.3で、差を認め
るが、分布にはばらつきがあり、有意差は見出せなかった。

2) 嗅覚

分布では、年少者は10～15点の示す者が多く、一方年長者は、12～15点を示す者
が多かった。次に年齢区別の有意差を見ると（表3）、平均値が、年少者で12.4、
年長者で13.0と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

3) 触覚

分布では、年少者は9点、12点を示す者が多く、一方年長者は、12点、14点を示
す者多かった。次に年齢区別の有意差を見ると（表4）、平均値が、年少者で1
1.6、年長者で10.8、と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

4) 聴覚

分布では、年少者は、9点、10点、15点を示す者多く、一方年長者は、9～12
点を示す者多かった。次に年齢区別の有意差を見ると、表5のようになる。そ
れによると、平均値が、年少者で11.7、年長者で10.8と差がほとんど無く、有意
差は見出せなかった。

5) 視覚

分布では、年少者は、10点を示す者多く、一方年長者は、11点、13点を示す者
が多かった。次に年齢区別の有意差を見ると（表6）、平均値が年少者で11.8、
年長者で11.1と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

6) 全感覚

分布では、年少者は、58点、61点を示す者多く、一方年長者は、51点、54点、
57点を示す者多かった。次に年齢区別の有意差は（表7）、平均値が年少者で5
4.8、年長者は48.9で、5%有意差が認められた。すなわち、全感覚では、年少者の方
が、年長者より不快の程度が強いという事が明らかになった。これは平均値から
見ると、嗅覚以外は、年少者の方が年長者より、いくぶんか不快の程度が強かった
結果だと考えられる。しかし20～40年の年齢差があっても、全感覚のみ5%の有意
差しか見出せなかったという事は、年齢差は、不快と感じる程度にあまり関係しな
いという事が言えそうである。今回の結果から統計学上では、近年の日本社会の生
活環境では、20～40年前と今日では、人が不快刺激を受容するというレベルにお
いて、あまり差が無くなったのではないかと考えられる。すなわち女性では、不快の
程度に対する年齢差は以上の結果からは、ほとんど無いという事が出来る。

(2) 男性

1) 味覚

分布では、年少者は、3点を示すのが一番多く、一方年長者は、2点を示すのが
一番多かった。次に年齢区別の有意差を見ると（表8）、平均値が年少者で3.8、
年長者で3.4と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

2) 嗅覚

分布では、年少者は、5点、8点、12点を示す者が多く、一方年長者は、15点を示す者が一番多かった。次に年齢区分別の有意差を見ると（表9）、平均値が年少者で10.1、年長者で10.9と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

3) 触覚

分布では、年少者は、4点、9点を示す者が多く、一方年長者は、4点、13点を示す者が多かった。次に年齢区分別の有意差を見ると（表10）、平均値が年少者で6.5、年長者で7.4と差がほとんど無く、有意差は見出せなかった。

4) 聴覚

分布では、年少者は、7点を示す者が一番多く、一方年長者は、12点を示す者が一番多かった。次に年齢区分別の有意差を見ると、表11のようになる。それによると、平均値が年少者で9.3、年長者で9.9と差はほとんど無く、有意差は見出せなかった。

5) 視覚

分布では、年少者は、7点を示す者が一番多く、一方年長者は、11点を示す者が一番多かった。次に年齢区分別の有意差を見ると（表12）、平均値が年少者で8.0年長者で9.1と差はほとんど無く、有意差は見出せなかった。

6) 全感覺

分布を見ると、年少者は、18点、28点、38点、39点を示す者が多く、一方年長者は、20点、36点を示す者が多かった。次に年齢区分別の有意差を見ると（表13）、平均値が年少者で37.6、年長者で40.6と差はほとんど無く、有意差は見出せなかった。以上の事から、男性は女性と同様、年齢差は、不快を感じる程度に関係しないという事が言えそうである。時代による生活環境の変化がそれ程大きくなはない場合は、男女共、生物的に、不快の程度に対する年齢差はほとんど無いと言う事が出来る。

2. 性別不快度

性別で不快の程度にどのような差が見られるか、調べたのが、表14である。今回は〈全感覺〉のみの比較検討を行なった。その結果、年少者（0～19歳）では、平均値が女性が54.8、男性が37.6で、1%の有意差で女性の方が高く、女性が男性より不快を感じる程度が強い事がわかった。この結果は、2004年に行なった前回の研究でも同じ様な結果であり、再認出来た事になる。一方年長者（40～59歳）では、平均値が女性が48.9、男性が40.6で、年少者程ではないが差はあり、5%の有意差で女性の方が高く、女性の方が男性より不快を感じる程度が強い事がわかった。このように、年少者、年長者共女性の方が男性より、不快を感じる程度が強いという事は、その原因の1つとして、生物的な違いを考えざるをえない。また、年長者より年少者の方に差が大きいという事は、性差を強く意識し、しかも自尊心の強い青年期を含めた年少の時期の男性は、「不快を感じない精神的忍耐力を、男性は持たなければならない」とい

う男性観、一方女性は、それとは逆の女性観を持っている為かも知れない。年長になり、差が小さくなつたのは、この様な意識もあまり無くなり、多くの経験をした事の結果と考えられる。この様に性別による不快の程度の差は、女性の方が男性より不快を感じる程度が強いということが出来る。そしてその原因の重要な要素は、生物的なものであり、それらに年齢的に強くなつたり弱くなつたりする男性観や女性観といったものが要素と考えられる。

3. 不快刺激順位

どのような刺激内容のものを不快と感じるのか、その不快の程度の順位が、性差、年齢差でみられるかを調べた。

(1) 女性

女性では、年齢区別に、刺激内容で不快の程度に順序差があるかを見た。まず〈味覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表15、年長者は表16である。ワースト2は、双方とも、「脂身たっぷりの肉」「レバー」で同じ傾向を示している。一方、あまり不快でないものも「にんじん」「貝類」は同じであるが、「つぶあん」だけは、年少者に不快と感じる者が比較的多い。

また〈嗅覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表17、年長者は表18である。これらによると、ワースト3に、双方とも「生ゴミ」「生臭さ」がはいっており、同じ傾向を示している。ただワースト3の中に、年少者は、「おやじ臭さ」がはいっているのに、年長者は、「強い香水」がはいっている。これは、年齢的に受け入れ易い物、逆に受け入れ難い物として、とらえられた結果ではないかと考えられる。一方あまり不快でないものは、「車内の臭い」「動物の臭い」「チーズ」で双方とも同じ傾向を示している。

また〈触覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表19、年長者は表20である。これらによると、ワースト3とも双方が同じ傾向で、「虫を手袋や素手でつかまえる」というものである。2004年の研究のところすでに述べたが、本研究を着手したきっかけが、年少者の虫に対する強い不快感であった。そして、この不快感はデータでも明らかになったと共に、その母親の年齢層も、この様な強い不快感を持っていて、虫への接し方を親を通して学んでいるという事がわかった。一方あまり不快でないものは、「手袋をして便器にふれる」「生魚に手でふれる」「本のページをめくる」で双方とも同じ傾向を示した。

さらに〈聴覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表21、年長者は表22である。これらによると、ワースト3に、双方とも、「黒板にチョークでひっかく音」「ぶりっ子の声」がはいっており、同じ傾向を示している。ただワースト3の中に、年少者は、「ハエのブーンという音」年長者は、「どなり声」がはいっている。年少者のハエに対する不快感ほど、年長者が感じないのは、生育環境の過程で、ハエと多く接して来た

為、ハエの存在ではあまり不快を感じないのではないかと考えられる。また年長者が「どなり声」に強い不快を感じているのは、長い人生の中で、家庭内外のトラブルによって生じるどなり声を聞く機会が年少者より多かった為ではないかと考えられる。一方あまり不快でないものは、「パトカーのサイレンの音」「救急車のサイレンの音」「静かな時の時計の音」で双方とも同じ傾向を示した。

最後に〈視覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表23、年長者は表24である。これらによると、ワースト3に、双方とも、「動物の死体を見る」「ゴキブリを見る」「不潔な人を見る」がはいっており、同じ傾向を示している。一方あまり不快でないものは、双方とも、「汗をかいている人を見る」「生魚を見る」をあげており、同じ傾向を示した。

(2) 男性

次に男性について、年齢区別に刺激内容で不快の程度に順序差があるか見ていく。まず〈味覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表25、年長者は表26である。これらによると、ワースト3は、年少者が、「レバー」「グリンピース」「からし」に対して、年長者は「脂身たっぷりの肉」「貝類」「つぶあん」と、全く別物をあげている。年少者がレバーやグリンピースの様に舌にざらざら感が残るのに不快感を持っているのに対し、年長者は年齢的なこともあろうが、脂身たっぷりの肉に対して特に強い不快感を持っている事が明らかになった。一方、あまり不快でないものは、「にんじん」「しいたけ」「わさび」などで、双方とも大体同じ傾向を示していた。

また〈嗅覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表27、年長者は表28である。ワースト3の内、「生ゴミ」と「生臭さ」の2つは双方ともあがっているが、もう1つは年少者が、「おやじ臭さ」年長者が、「強い香水」をあげている。この違いは、年齢的な違いと考える事が出来る。一方、あまり不快でないものは、「車内の臭い」「動物の臭い」「チーズ」で、双方とも同じ傾向を示している。

また〈触覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表29、年長者は表30である。ワースト3の内、「手袋してゴキブリをつかまえる」「いもむしを手でつかまえる」の2つは双方ともあがっているが、もう1つは年少者が、「手袋してナメクジをつかまえる」に対して、年長者は、「静電気を起こすものにふれる」をあげ、これが順位として1位になっている。これは年長者が静電気に強い不快感を持つのは、以前より発生する機会が多くなった為だと考えられる。また年少者が、第一位だったゴキブリに対して特別に不快感を持つのは、今日ゴキブリに対して、昔以上に不衛生なものというとらえ方が、浸透した為だと考られる。一方、あまり不快でないものは、双方とも「生魚で手をふれる」「本のページをめくる」の2つがあがっているが、もう1つは年少者は、「手袋して生ゴミにふれる」年長者は、「バッタを手でつかまえる」をあげている。年少者が日常で多く経験して平氣になっているものをあげているのに、年長者は、非日常的なバッタという虫類に直接触れる事に、それ程不快感を持っていない事がわか

る。以上の結果から、この触覚においては、女性と異なり、男性の年少者は、バッタやゴキブリといった虫類に、年長者より強く不快感を持っている事がわかる。これは、今日の年少者は幼い時から、自然での遊びを減少させてきた結果、色々な虫類に触れる機会が少ない中で成長して来たものと考えられる。

さらに〈聴覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表31、年長者は表32である。ワースト3の内、「黒板にチョークでひっかく音」「どなり声」の2つは双方ともあがっているが、もう1つは年少者が、「ハエのブーンという音」に対して、年長者は、「ぶりっ子の声」をあげている。年少者のハエの音は、年長者が若い頃、よくハエはいたので、年長者はそれ程、不快感を持たない為だと思われるし、年少者にとって、ぶりっ子の声は身近なもので、不快感をもたないものとして、とらえられている為ではないかと思われる。時代的環境の変化がこの様な違いを生じさせたものと考えられる。一方、あまり不快でないものは、双方であげられたのが、「バイクの音」で、違うものが年少者で、「テレビのジーという音」「救急車のサイレンの音」年長者で、「工事の音」「静かな時の時計の音」であった。この違いは年齢的な背景はそれ程考えられず、偶然の結果かも知れない。

最後に〈視覚〉であるが、順位を示すと、年少者は表33、年長者は表34である。ワースト3の内、「動物の死体を見る」「不潔な人を見る」の2つは双方ともあがっているが、もう1つは年少者が、「ゴキブリを見る」に対して、年長者は、同点で「酔っ払いの姿を見る」「地面に座っている若者を見る」があがっている。年少者のゴキブリへの強い不快感は、すでに触覚のところで述べた理由であろうし、年長者の酔っ払いは、日常よく接する事が多い為か、また地面に座っている若者を、流行ととらえる年少者に対して、だらしないと見て年長者の姿が、はっきりと表われている。一方、あまり不快でないものは、「ミミズを見る」「生魚を見る」の2つがあがっているが、もう1つは、年少者が年長者が強い不快感を持った、「地面に座っている若者を見る」年長者は、日常よく見る「汗をかいている人を見る」をあげている。このように地面を座っている若者に対して同世代の年少者は、不快感を持っていない事が明らかになった。この事の世代間のギャップは非常に大きいといえそうである。

IV. まとめ

外界の種々な刺激に対して、不快感をどの程度持っているのか、2004年の研究では、青年期の女子を中心に明らかにした。そこで今回は、それが年齢差によって、どの様に違うのか、という事を主題にして、次の3つの視点から、研究を進めていった。まずその1は、青年男女で明らかになった、不快の程度は、もっと年長者を対象とした場合、同じ傾向がみられるのか。その2は、年齢を同期にした場合、性差を見たらどんな傾向が認められるか。その3は、不快刺激の内容面で、青年期の性差、年齢差で、どのような違いがあるか、である。

以上の目的の為、首都圏の女子学生の親族、友人、近隣の人達、男性44人、女性98人を対象に、2004年に用いた、不快刺激の程度をみる、アンケート調査を行なった結果、以下のような事が明らかになった。

1. 年齢差で不快の程度に差があるか、同じ傾向をみられるかという事では、女性では、全感覚で年少者の方が年長者より5%有意で不快の程度が強かったのみで、各感覚別では差は見出せなかった。また男性では、すべての感覚で差が見出せなかった。以上の事から、近年の日本社会において、男女共、年齢差による不快の程度は無いものと考えられた。不快の程度は年齢によって変化しないといった、生物学的側面が強く感じられる結果となった。
2. 年齢を同期にした場合、性差がみられるかどうかでは、全感覚で比較した場合、年少者では、1%有意で女性の方が、年長者では、5%有意でこれも女性の方が、男性より、不快の程度を強く感じているという結果が出た。この年少者の結果は、2004年の結果を追認したものとなった。この様な性差は、強く生物学的要因によっていると考えられた。
3. 不快刺激の内容面で、性差、年齢差でどのような違いがあるかでは、例えば、触覚において、男性の年長者はあまり不快に感じない、「バッタを手でつかまえる」を、年少者は強く不快に感じた。一方、視覚において、男性の年少者はあまり不快に感じない、「地面に座っている若者を見る」を、年長者は強く不快に感じていた。このように、不快の程度の強さを量的にとらえた場合は前述の通り、年齢差は認められないが、内容面という質的面からみた場合は、時代の違いによる社会的変化によって、年齢によって差が認められた。特にこの差は女性より男性に差が大きく認められた。これは、近年の日本社会の変化が、コンピューターゲームなど室内遊びを多くする様な環境を作りあげ、これが女性より、本来屋外遊びを好む傾向のある男性を、室内にとどめる結果になった為と考えられた。

文献

- 1) 萩原英敏「青年期の感覚刺激への不快度と、その不快度を形成する要因について」『淑徳短期大学研究紀要』第45号、2006、p.89-113.
- 2) 浜治世「触感の研究：bright pressureとdull pressureおよび乳癌患者のロールシャッハ濃淡反応」『文京女子大学紀要（人間学部）』第1号、1997、p.109-138.
- 3) 辻敬一郎〔ほか〕「刺激文によって喚起される不快感情の分析：感覚モダリティと性的要因の効果」『感情心理学研究』第3号、1996、p.64-70.

資料 1

I. 嫌悪刺激（反応）と、その要因に関するアンケート

最近、嫌いなものに対して、敏感に反応する人が多数見かけられます。そこでどんなものに、どの程度嫌いなのかを調べることにしました。またその要因と考えられる子どもの時期の遊び体験や、現在の性格などを調べる調査項目を作ってみました。

回答に際しては、無記名でありプライバシーは守られること、資料は厳守に保管し秘密保持に努めることを、当方が約束した上で、調査に協力願えればと思います。

<嫌悪刺激>

	あまり気に ならない	やや嫌い である	非常に嫌い である
Q 1 あなたが、レバーを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 2 あなたが、しいたけを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 3 あなたが、グリンピースを口にし たら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 4 あなたが、わさびを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 5 あなたが、からしを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 6 あなたが、いくらを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 7 あなたが、にんじんを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 8 あなたが、貝類を口にしたら、ど んな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 9 あなたが、つぶあんを口にしたら、 どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 10 あなたが、脂身たっぷりの肉を口 にしたら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 11 あなたが、トイレの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 12 あなたが、強い香水の臭いをかい だら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 13 あなたが、おやじ臭さのにおいを かいだら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————
Q 14 あなたが、タバコの臭いをかいだ ら、どんな感じですか？	————— —————	————— —————	————— —————

- Q15 あなたが、生ゴミの臭いをかいだら、どんな感じですか？
- Q16 あなたが、生臭さにおいをかいだら、どんな感じですか？
- Q17 あなたが、酒臭いにおいをかいだら、どんな感じですか？
- Q18 あなたが、チーズの臭いをかいだら、どんな感じですか？
- Q19 あなたが、動物の臭いをかいだら、どんな感じですか？
- Q20 あなたが、電車やバスで、車内の臭いをかいだら、どんな感じですか？
- Q21 あなたが、バッタを手でつかまえるなら、どんな感じですか？
- Q22 あなたが、生魚に手で触れるなら、どんな感じですか？
- Q23 あなたが、いもむしを手でつかまえたたら、どんな感じですか？
- Q24 あなたが、手袋してカエルをつかまえたたら、どんな感じですか？
- Q25 あなたが、手袋してゴキブリをつかまえたたら、どんな感じですか？
- Q26 あなたが、手袋してナメクジをつかまえたたら、どんな感じですか？
- Q27 あなたが、手袋して生ゴミに触れたら、どんな感じですか？
- Q28 あなたが、手袋して便器に手を触れたら、どんな感じですか？
- Q29 あなたが、静電気を起こすものに触れたら、どんな感じですか？
- Q30 あなたが、本のページをめくる時、どんな感じですか？
- Q31 あなたは、黒板にチョークでひっかく音をきいたら、どんな感じですか？
- Q32 あなたは、どなり声を聞いたら、どんな感じですか？
- Q33 あなたは、救急車のサイレンの音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q34 あなたは、パトカーのサイレンの音を聞いたら、どんな感じですか？

- Q35 あなたは、ハエのブーンという音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q36 あなたは、静かな時、時計の音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q37 あなたは、工事の音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q38 あなたは、バイクの音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q39 あなたは、テレビのジーという音を聞いたら、どんな感じですか？
- Q40 あなたは、ぶりっ子の声を聞いたら、どんな感じですか？
- Q41 あなたは、ゴキブリをみたら、どんな感じですか？
- Q42 あなたは、ハエをみたら、どんな感じですか？
- Q43 あなたは、動物の死体をみたら、どんな感じですか？
- Q44 あなたは、酔っ払いの姿をみたら、どんな感じですか？
- Q45 あなたは、いちゃいちゃしているカップルをみたら、どんな感じですか？
- Q46 あなたは、ミミズを見たら、どんな感じですか？
- Q47 あなたは、生魚をみたら、どんな感じですか？
- Q48 あなたは、不潔な人をみたら、どんな感じですか？
- Q49 あなたは、汗をかいている人を見たら、どんな感じですか？
- Q50 あなたは、地面にすわっている若者をみたら、どんな感じですか？
- Q51 あなたの性は？
- Q52 あなたの年齢は？

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ・女性 | ・男性 | |
| ・0～9 | ・10～19 | ・20～29 |
| ・30～39 | ・40～49 | ・50～59 |
| ・60～69 | ・70以上 | |

結果図表

I. 年齢区分別不快度

(女性)

表2 味覚の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	6.7	3.6	$F > F_{0.25}(41.55)$
	40～59	42	3.3	2.4	N.S.

表3 嗅覚の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	12.4	3.36	$t < t_{0.05}(98)$
	40～59	42	13.0	4.13	N.S.

表4 触覚の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	11.6	4.5	$t < t_{0.05}(98)$
	40～59	42	10.8	4.4	N.S.

表5 聴覚の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	11.7	4.0	$t < t_{0.05}(98)$
	40～59	42	10.8	4.5	N.S.

表6 視覚の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	11.8	4.3	$t < t_{0.05}(98)$
	40～59	42	11.1	3.7	N.S.

表7 全感覺の年齢別（女性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
女性	0～19	56	54.8	13.4	$t=2.07 > t_{0.05}$
	40～59	42	48.9	14.1	*…5%有意

(男性)

表8 味覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	3.8	3.3	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	3.4	2.6	N.S.

表9 嗅覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	10.1	4.1	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	10.9	3.8	N.S.

表10 触覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	6.5	4.2	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	7.4	4.5	N.S.

表11 聴覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	9.3	4.8	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	9.9	4.1	N.S.

表12 視覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	8.0	3.9	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	9.1	4.2	N.S.

表13 全感覚の年齢別（男性）不快差

性	年齢	N	M	SD	有意差(t-検定)
男性	0～19	24	37.6	15.0	$t < t_{0.05}(44)$
	40～59	20	40.6	14.7	N.S.

表14 性別による不快の温度の差

年齢	性	N	M	SD	有意差(t-検定)
0～19	女	56	54.8	13.4	$t = 4.98 > t_{0.01}$
	男	24	37.6	15.0	* * … 1%有意

年齢	性	N	M	SD	有意差(t-検定)
40～59	女	42	48.9	14.1	$t = 2.10 > t_{0.05}$
	男	20	40.6	14.7	* … 5%有意

II. 不快刺激順位

(女性)

表15 味覚不快順位

女性 0~19歳 N=56			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	脂身たっぷりの肉	1.05	0.86
2	レバー	1.00	0.91
3	わさび	0.80	0.82
4	からし	0.73	0.80
5	グリーンピース	0.66	0.82
6	しいたけ	0.52	0.77
7	つぶあん	0.50	0.71
8	いくら	0.48	0.79
8	にんじん	0.48	0.69
8	貝類	0.48	0.74

表16 味覚不快順位

女性 40~59歳 N=42			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	脂身たっぷりの肉	1.33	0.79
2	レバー	0.79	0.84
3	いくら	0.26	0.59
4	からし	0.21	0.52
5	わさび	0.17	0.44
6	しいたけ	0.14	0.41
6	グリーンピース	0.14	0.35
6	にんじん	0.14	0.35
9	貝類	0.11	0.40
10	つぶあん	0.02	0.15

表17 嗅覚不快順位

女性 0~19歳 N=56			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	生ゴミ	1.86	0.40
2	おやじ臭さ	1.80	0.48
3	生臭さ	1.69	0.54
4	タバコ	1.32	0.74
4	トイレ	1.32	0.69
4	強い香水	1.32	0.64
7	酒臭さ	1.09	0.64
8	車内の臭い	0.98	0.73
9	動物の臭い	0.77	0.57
10	チーズ	0.43	0.57

表18 嗅覚不快順位

女性 40~59歳 N=42			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	生ゴミ	1.67	0.48
1	生臭さ	1.67	0.48
3	強い香水	1.60	0.54
4	タバコ	1.52	0.63
5	おやじ臭さ	1.50	0.67
6	トイレ	1.36	0.69
7	酒臭さ	1.19	0.67
8	動物の臭い	1.02	0.64
8	車内の臭い	1.02	0.72
10	チーズ	0.36	0.53

表19 触覚不快順位

女性 0~19歳 N=56			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	手袋してゴキブリをつかまえる	1.82	0.54
2	いもむしを手でつかまえる	1.68	0.69
3	手袋してナメクジをつかまえる	1.57	0.69
4	手袋してカエルをつかまえる	1.29	0.89
5	バッタを手でつかまえる	1.20	0.86
6	静電気を起こすものにふれる	1.18	0.66
7	手袋して生ゴミにふれる	1.09	0.77
8	手袋して便器にふれる	1.05	0.70
9	生魚に手でふれる	0.89	0.91
10	本のページをめくる	0.16	0.42

表20 触覚不快順位

女性 40~59歳 N=42			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	いもむしを手でつかまえる	1.62	0.62
2	手袋してゴキブリをつかまえる	1.57	0.74
3	手袋してナメクジをつかまえる	1.52	0.74
4	静電気を起こすものにふれる	1.29	0.71
5	手袋してカエルをつかまえる	1.21	0.84
6	バッタを手でつかまえる	1.10	0.79
7	手袋して生ゴミにふれる	0.90	0.69
8	手袋して便器にふれる	0.76	0.69
9	生魚に手でふれる	0.67	0.69
10	本のページをめくる	0.17	0.49

表21 聴覚不快順位

女性 0～19歳 N=56			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	黒板にチョークでひっかく音	1.64	0.62
2	ハエのブーンという音	1.54	0.60
3	ぶりっ子の声	1.45	0.74
4	どなり声	1.36	0.75
5	工事の音	1.20	0.67
6	テレビのジーという音	1.13	0.66
7	バイクの音	0.95	0.80
8	パトカーのサイレンの音	0.86	0.70
8	救急車のサイレンの音	0.86	0.77
10	静かな時の時計の音	0.70	0.74

表22 聴覚不快順位

女性 40～59歳 N=42			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	どなり声	1.48	0.67
2	黒板にチョークでひっかく音	1.38	0.76
3	ぶりっ子の声	1.29	0.71
4	バイクの音	1.12	0.67
5	ハエのブーンという音	1.10	0.66
6	工事の音	1.07	0.64
7	テレビのジーという音	1.02	0.60
8	救急車のサイレンの音	0.88	0.63
9	パトカーのサイレンの音	0.81	0.67
10	静かな時の時計の音	0.71	0.74

表23 視覚不快順位

女性 0～19歳 N=56			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	動物の死体を見る	1.79	0.46
2	ゴキブリを見る	1.72	0.59
3	不潔な人を見る	1.61	0.49
4	酔っ払いの姿を見る	1.23	0.76
4	ハエを見る	1.23	0.76
6	いちゃいちゃしているカップルを見る	1.07	0.78
7	地面に座っている若者を見る	1.04	0.71
8	ミミズを見る	1.02	0.84
9	汗をかいている人を見る	0.91	0.75
10	生魚を見る	0.46	0.71

表24 視覚不快順位

女性 40～59歳 N=42			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	動物の死体を見る	1.74	0.50
2	不潔な人を見る	1.45	0.63
3	ゴキブリを見る	1.43	0.77
4	地面に座っている若者を見る	1.31	0.60
5	酔っ払いの姿を見る	1.24	0.62
6	ハエを見る	1.07	0.71
7	ミミズを見る	1.00	0.73
8	いちゃいちゃしているカップルを見る	0.98	0.60
9	汗をかいている人を見る	0.71	0.55
10	生魚を見る	0.36	0.62

(男性)

表25 味覚不快順位

男性 0～19歳 N=24			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	レバー	0.63	0.82
2	グリーンピース	0.50	0.78
3	からし	0.46	0.78
4	いくら	0.42	0.78
4	つぶあん	0.42	0.78
6	貝類	0.33	0.76
6	脂身たっぷりの肉	0.33	0.48
8	しいたけ	0.29	0.46
8	わさび	0.29	0.62
10	にんじん	0.17	0.48

表26 味覚不快順位

男性 40～59歳 N=20			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	脂身たっぷりの肉	1.10	0.85
2	貝類	0.55	1.79
2	つぶあん	0.55	2.01
4	レバー	0.45	0.69
5	からし	0.35	0.59
6	にんじん	0.30	0.57
6	グリーンピース	0.30	0.57
6	わさび	0.30	0.57
9	いくら	0.25	0.64
10	しいたけ	0.10	0.31

表27 嗅覚不快順位

男性 0～19歳 N=24			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	生ゴミ	1.58	0.50
2	生臭さ	1.46	0.66
3	おやじ臭さ	1.42	0.78
4	トイレ	1.13	0.74
5	酒臭さ	0.96	0.81
6	強い香水	0.92	0.78
7	タバコ	0.88	0.90
8	車内の臭い	0.75	0.79
9	動物の臭い	0.58	0.65
10	チーズ	0.46	0.66

表28 嗅覚不快順位

男性 40～59歳 N=20			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	強い香水	1.60	0.60
2	生ゴミ	1.55	0.51
2	生臭さ	1.55	0.69
4	トイレ	1.15	0.67
5	タバコ	0.95	0.76
5	酒臭さ	0.95	0.60
7	おやじ臭さ	0.90	0.72
8	動物の臭い	0.85	0.67
9	車内の臭い	0.75	0.72
10	チーズ	0.65	0.67

表29 触覚不快順位

男性 0～19歳 N=24			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	手袋してゴキブリをつかまえる	1.46	0.72
2	手袋してナメクジをつかまえる	0.88	0.85
2	いもむしを手でつかまえる	0.88	0.90
4	手袋して便器にふれる	0.67	0.87
5	バッタを手でつかまえる	0.58	0.83
6	手袋してカエルをつかまえる	0.54	0.83
7	静電気を起こすものにふれる	0.50	0.83
8	手袋して生ゴミにふれる	0.42	0.65
9	生魚に手でふれる	0.29	0.55
10	本のページをめくる	0.21	0.51

表30 触覚不快順位

男性 40～59歳 N=20			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	静電気を起こすものにふれる	1.40	0.68
2	いもむしを手でつかまえる	1.25	0.79
3	手袋してゴキブリをつかまえる	1.05	1.00
4	手袋してナメクジをつかまえる	0.90	0.85
5	手袋して生ゴミにふれる	0.80	0.83
6	手袋して便器にふれる	0.65	0.81
7	手袋してカエルをつかまえる	0.60	0.82
8	生魚に手でふれる	0.35	0.59
9	バッタを手でつかまえる	0.20	0.52
9	本のページをめくる	0.20	0.52

表31 聴覚不快順位

男性 0～19歳 N=24			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	ハエのブーンという音	1.33	0.76
2	黒板にチョークでひっかく音	1.13	0.95
3	どなり声	1.00	0.78
3	工事の音	1.00	0.83
3	ぶりっ子の声	1.00	0.93
6	パトカーのサイレンの音	0.83	0.92
6	静かな時の時計の音	0.83	0.82
8	テレビのジーという音	0.79	0.72
9	救急車のサイレンの音	0.67	0.87
10	バイクの音	0.58	0.83

表32 聴覚不快順位

男性 40～59歳 N=20			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	どなり声	1.40	0.68
1	ぶりっ子の声	1.40	0.68
3	黒板にチョークでひっかく音	1.20	0.77
4	ハエのブーンという音	1.15	0.88
5	テレビのジーという音	1.05	0.69
6	救急車のサイレンの音	0.95	0.76
7	パトカーのサイレンの音	0.90	0.72
8	バイクの音	0.75	0.72
9	工事の音	0.70	0.57
10	静かな時の時計の音	0.35	0.59

表33 視覚不快順位

男性 0～19歳 N=24			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	動物の死体を見る	1.54	0.72
2	ゴキブリを見る	1.33	0.82
3	不潔な人を見る	1.29	0.81
4	ハエを見る	0.88	0.80
5	いちゃいちゃしているカップルを見る	0.75	0.74
6	酔っ払いの姿を見る	0.71	0.86
7	汗をかいている人を見る	0.63	0.77
8	地面に座っている若者を見る	0.50	0.88
9	ミミズを見る	0.25	0.61
10	生魚を見る	0.08	0.41

表34 視覚不快順位

男性 40～59歳 N=20			
不快度順位	不快刺激	M	SD
1	動物の死体を見る	1.55	0.60
2	不潔な人を見る	1.40	0.60
3	酔っ払いの姿を見る	1.10	0.72
3	地面に座っている若者を見る	1.10	0.91
5	ゴキブリを見る	0.95	0.83
6	いちゃいちゃしているカップルを見る	0.90	0.72
7	ハエを見る	0.75	0.79
8	ミミズを見る	0.65	0.75
9	汗をかいている人を見る	0.45	0.60
10	生魚を見る	0.25	0.44